







《簡易マニュアル NO.2》PLCアダプター通信編

<p>①準備しておくもの</p> <p>PLCアダプター ペア(できれば2セット)、KDM主装置及び表示機</p> <p>PLCコンセント(2~3ヶ)、回路探査機(戸上 Super ラインチェッカー)</p>	<p>④ブレーカにPLCコンセントを取付</p> <p>先ほど調べた相にPLCコンセントを取り付けます。</p> <p>※通常クリップで止めますが、できればブレーカに確実に接続して下さい。</p>
	
<p>②回路探査機の発信機を取付</p> <p>タッチパネルを設置したい場所の近くのコンセントに、回路探査機の発信機のプラグを差し込みます。</p>	<p>⑤主装置-PLCアダプターの接続</p> <p>PLCコンセントにPLCアダプターのペアの片方のプラグを差し込みます。</p> <p>さらにPLCアダプターと主装置をLANケーブルで接続します。</p>
	
<p>③電灯幹線を調べる</p> <p>キュービクルの低圧電灯配電盤で、発信器を取り付けたコンセントの接続相を確認します。(赤・白間or黒・白間)</p>	<p>⑥タッチパネル-PLCアダプターの接続</p> <p>先ほど発信機を取り付けたコンセントにもう片方のPLCアダプターを差し込み、LANケーブルにてタッチパネルと接続します。</p>
	

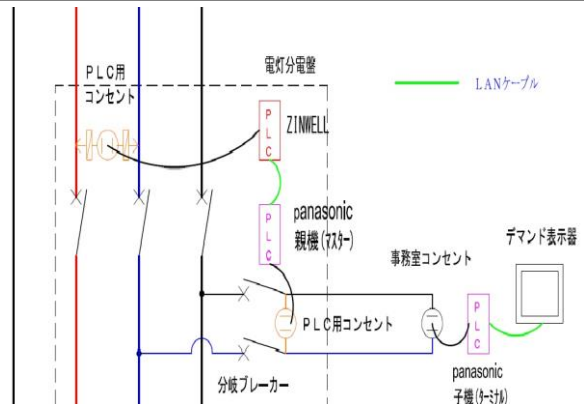
⑦通信確認

タッチパネル下部のエラーメッセージが出ておらず、グラフが表示され、画面が循環していけば通信成功です。



⑩通信がうまくいかない時 その3

電灯分電盤からタッチパネルのコンセント間にて③で調べた相で、メーカーの異なるPLCアダプターのペアを設置します。



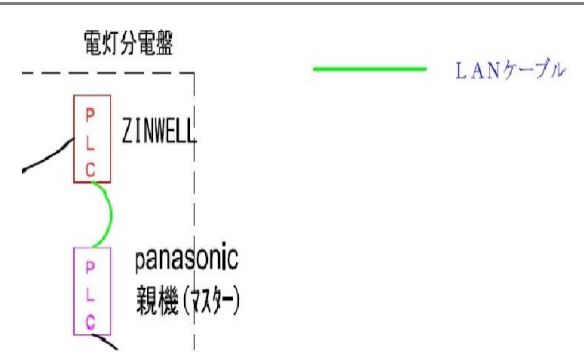
⑧通信がうまくいかない時 その1

回路の分岐などが多い事業所では、PLCアダプター1セットでは通信しない場合があります。この場合、メーカーの異なるもう1セット準備します。



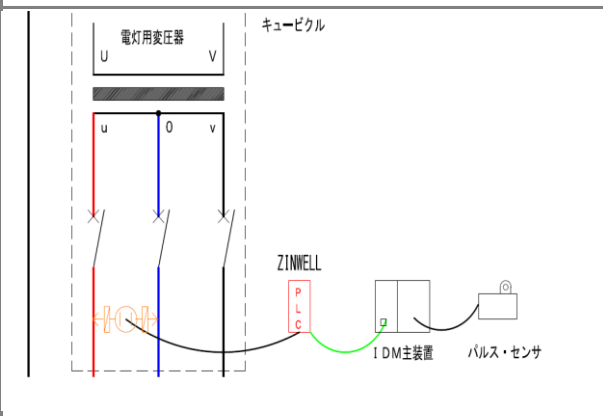
⑪通信がうまくいかない時 その4

電灯分電盤内で2種類のPLCアダプターをLANケーブルで接続します。



⑨通信がうまくいかない時 その2

キュービクルとコンセント回路のある電灯分電盤間で、③で調べた相とは逆の相にPLCアダプターのペアを設置します。



※PLCアダプターのグループ化

出荷時、PLCアダプターはグループ化されていますが、間違って初期化してしまった場合のグループ化は同梱の説明書をご覧ください。

